



生成AIを活用して業務の効率化・高度化を 利用ガイドライン見直し

市長記者会見資料
6 . 1 2 . 2 4
D X 推 進 本 部

職員の時間や余力を生み出し、市民に向き合う仕事ができるよう、
生成AIを積極的に活用するため、ガイドラインを改訂

R5年6月、「ChatGPT等の生成AIの利用にあたってのガイドライン」策定 → 利用にあたっての注意事項が主な内容

新ガイドライン：積極的に活用するためにより具体的で明確な内容に

① 生成AIを利用できる業務の範囲

- 文章の要約、翻訳又は平易に書き改めること
- 文章を校正又は改善すること
- 公開されている情報や文章を表などに整理すること
- 着想を得る又はアイデアを発展させること など

② 利用できる生成AI

ChatGPT ・ Microsoft Copilot ・ Google Gemini の3つを指定

③ 利用上のルール

- 生成AIはあくまで補助的なツールであり、責任は職員自身にあることを認識した上で利用する
- 機密性の高い情報や直ちに一般に公表することを前提としていない情報は入力しない
- 生成物は正しくない可能性があるため、必ず裏付けを取り、誤りや公平性に問題がないことを確認する など



生成AIを活用して業務の効率化・高度化を 利用ガイドライン見直し

市長記者会見資料
6.12.24
DX推進本部

効果的な使い方や活用シーンをまとめた「**付録Appendix**」を新たに作成



◆ 生成AIの機能

A 要約

B 校正/添削

C 翻訳

D テキスト分類

E 思考の壁打ち

F 問題作成

G コード作成

H 記述アシスタント

I アイデア創出

J 情報検索

◆ 効果的な使い方 : より良い回答を得るための指示(プロンプト)を機能別に例示

I アイデア創出

プロンプト例



#背景
・あなたは自治体の職員で、イベント企画を担当しています。
#指示
・以下、「イベント内容を分析して、見た人が参加したくなるようなキャッチコピーを考えてください。
#イベント内容
・子ども向けの体操教室
⋮



以下、指定した条件に基づき、子ども向けの体操教室に参加したくなるキャッチコピーを提案いたします。
⋮

